

## 今年度の研究テーマと今後の進め方について

## 【今年度の研究テーマ】

21年度は、横浜市が地球規模の環境問題に先導的に対処する環境モデル都市としての役割を果たすため、脱温暖化行動を本格稼動する年と位置付け、「G30からCO-DO30へ」を合言葉に環境行動を強力に推進していくことから、脱温暖化行動（低炭素社会の実現）に寄与する税制度の活用方策について検討する。

具体的には、はじめに早期に導入可能なものとして既存税制（市税）の中でグリーン化できるものについて議論を行い一定の整理をするとともに、続いて国・県・市の枠組みを超えた環境税制のあり方について議論を進めていく。

## 【今後の進め方】

開催回	議論内容
第10回 平成21年 7月6日(月) 10:00~12:00	「横浜市における脱温暖化の取組と課題について」 (市説明) ・テーマ説明 ・横浜市における脱温暖化の取組について (意見交換) ・脱温暖化税制の取組検討にあたっての論点  「横浜みどりアップ計画市民推進会議について」 (市説明) ・市民検証組織の設置について (意見交換) ・検証実施上の留意点について
第11回 平成21年 7月31日(金) 15:00~17:00	「脱温暖化の取組と税制のかかわりについて」 (議論) ・横浜市における脱温暖化の手段としての税制活用に対する基本的な考え方 *例：課税主体（国・地方）、政策手段（ポリシーミックス）、税込中立、グッズ減税・バズ課税 など
第12回 平成21年 8月下旬または9月上旬	「既存税制のグリーン化について①」 (市説明) ・横浜市で軽減税制の活用を考えている脱温暖化施策について (議論) ・横浜市で導入可能な脱温暖化軽減税制について
第13回 平成21年 9月下旬	「既存税制のグリーン化について②」 (議論) ・横浜市で導入可能な脱温暖化軽減税制について ・中間的な整理（基本的考え方+軽減税制）たたき台について
第14回 平成21年 10月中旬	「中間整理について」 (議論) ・中間整理（基本的考え方+軽減税制）（案）について
第15回以降 平成21年 11月以降	「脱温暖化行動に寄与する税制のあるべき姿について」  ※ 脱温暖化行動に寄与する他の経済手法の検討と連動しながら議論を進める予定